

日本水処理生物学会第61回（川越）大会案内（第2回目）

大会会長 山崎宏史（東洋大学）

日本水処理生物学会第61回大会（川越大会）及び2025年次総会は、下記のとおり開催を予定しております。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

1. 日程

2025年11月14日（金）	11月15日（土）	11月16日（日）
受付(シボ) 13:30 ~	受付(大会) 8:30 ~	受付(大会) 8:30 ~
開会式 14:00 ~	研究発表 9:00 ~ 16:00	研究発表 9:00 ~ 11:30
シボ・ジウム 14:10 ~ 16:40	（休憩 12:00 ~ 13:30）	
研究集会 17:00 ~ 19:00	評議員会 12:00 ~ 13:30	
	総会 16:15 ~ 17:00	
	意見交換会 17:30 ~ 19:00	

2. 運営 組織

大会会長：山崎宏史（東洋大学理工学部都市環境デザイン学科）

事務局長：井坂和一（東洋大学理工学部応用化学科）

事務局連絡先

〒350-8585 埼玉県川越市鯨井2100

東洋大学理工学部応用化学科（井坂宛）

TEL：049-239-1377（直通） FAX：049-239-1031（学科共通）

E-mail：jswtb.61@gmail.com

3. 大会 内容

(1) 公開シンポジウム：11月14日（金） 14:10 ~ 16:40

参加費：無料 事前登録：不要

『生活排水処理分野における温暖化対策』

○講演予定者

石井 淑大 / 国土技術政策総合研究所 研究官

：下水処理プロセスから排出される N_2O 排出量の実態把握調査

寺田 昭彦 / 東京農工大学 教授

：排水処理槽からの N_2O の生成と消費のメカニズム

増田 周平 / 秋田工業高等専門学校 教授

：下水処理水に残存する溶存態温室効果ガスの挙動について

中久保 豊彦 / 大阪大学 准教授

：分散型污水处理・汚泥資源化システムにおけるGHGs削減計画

柿島 隼徒 / 公益財団法人日本環境整備教育センター 主任

：浄化槽から排出されるGHGs削減に向けた維持管理ガイドラインの開発

蛭江 美孝 / 国立環境研究所 上級主幹研究員

：汚泥のバイオチャー化による炭素隔離

○総合討議

(2) 研究集会：11月14日（金） 17:00 ~ 19:00

下記の研究集会を開催します。詳細は、次号の案内（第3回目）でお知らせします。皆様のご参加をお待ちしております。なお、参加申込みは必要ありません。

1) 水道生物研究集会

コーディネーター 猪又明子（東京都健康安全研究センター）

『付着性藍藻 *Microcoleus autumnalis* によるかび臭発生と浄水処理対策（仮題）』

2) 排水・環境水研究集会

コーディネーター 井坂和一（東洋大学）

『アナモックス反応を用いた排水処理の実用化事例と今後の展望』

(3) 研究発表：11月15日（土）9:00～16:00、11月16日（日）9:00～11:30

- ・研究発表は、連名者に会員（正会員、団体会員、賛助会員）が含まれていれば、非会員の方でも可能とします。発表者（登壇者）は1人1題で、発表時間は1題12分、討議3分の計15分です。
- ・プロジェクターとマイクを用いた発表形式とします。
- ・各自で発表用のPCを持参していただきます。
- ・パワーポイントを用いた発表
- ・大会で用意するHDMIケーブルに、発表直前に接続し、発表して頂きます。
- ・HDMIケーブルへの接続アダプタ（コネクタ）が必要な方は、発表者ご自身でご準備下さい（特にMacをご利用の方はご注意ください）
- ・1105教室（控室）で試写が可能です。

*USBフラッシュメモリー等のみを持参し、発表することはできません。

(4) ベストプレゼンテーション賞：11月15日（土）午前

- ・日本水処理生物学会では、学生の研究に対する意識の向上と発展に期待し、ベストプレゼンテーション賞を設けております。
- ・学生を指導される方（教員、研究員ほか）から候補者を推薦していただきます。学会ホームページから推薦書をダウンロードの上ご記入いただき、大会事務局宛にメール添付でお送り下さい。

送信先：jswtb.61@gmail.com

件名：「ベストプレゼンテーション賞推薦書」

- ・推薦者1名につき、最大2名の候補者を推薦できます。
- ・推薦された候補者の方は、11月15日（土）午前のベストプレゼンテーション賞候補者のセッションにて発表していただきます。
- ・研究内容（新規性、有用性）に加えて、十分な結果とそれに基づく考察ができていること、論理構成、発表態度等を審査します。
- ・社会人学生、本賞を受賞されたことがある学生は審査対象外と致します。
- ・総会にて選考結果を発表し、意見交換会で表彰式を予定しております。

※応募者多数の場合は、講演要旨をもとに審査委員会において、一次選考を行う場合があります。

(5) 総会：11月15日（土）16:15～17:00

学会の運営等を決議しますので、会員の方々はご参加下さい。参加されない会員の方は、委任状に必要事項を記入し、大会事務局までご郵送下さい。

(6) 意見交換会：11月15日（土）17:30～19:00

川越キャンパス内の学生ホール食堂で開催いたします。学会賞・論文賞・ベストプレゼンテーション賞の表彰式も予定しております。多数のご参加をお待ちしております。

(7) 特別企画：11月15日（土）12:15～13:15

学生向けの企画として、広告・展示を行っていただいている企業を紹介する説明会を予定しています。詳細は、次号の案内（第3回目）でお知らせします。皆様のご参加をお待ちしております。なお、参加申込みは必要ありません。

4. 会場

- (1) 会場 : 東洋大学 川越キャンパス
〒350-8585 埼玉県川越市鯨井 2100

- (2) 会場へのアクセス



交通案内 :

(新幹線・東京)

「東京」から JR 山手線内回り 約 25 分 (東京→池袋)

「池袋」から東武東上線 急行 約 38 分／準急 約 45 分 (池袋 → 鶴ヶ島)

(新幹線・大宮)

「大宮」から JR 川越線 約 23 分 (大宮→川越)

「川越」から東武東上線 約 8 分 (川越 → 鶴ヶ島)

5. 参加予約及び研究発表等の申込み期限

参加予約とベストプレゼンテーション (推薦書含む)、研究発表などの申込みは、

令和7年7月31日(木) が締切です。

6. 参加費および講演要旨集

- (1) 大会参加費

一般会員 [予約] : 6,000 円 (不課税) (※8/1 以降の送金は当日扱いとなります)

[当日] : 7,000 円 (不課税)

非会員 : 8,000 円 (税込)

- (2) 意見交換会参加費

一般会員・非会員 [予約] : 3,000 円 (税込) (当日 4,000 円)

学 生 [予約] : 1,000 円 (税込) (当日 1,500 円)

- ・ 大会参加費および意見交換会参加費の領収証は、大会受付にて発行します。
- ・ 講演要旨集 (学会誌別巻) は、会員に事前送付されます。
- ・ 非会員の大会参加費には、講演要旨集 (学会誌別巻) 代は含まれません。

- ・ 講演要旨集（学会誌別巻）の購入を希望される方は、1冊2,000円（税込）にて、大会受付にて販売します。

本大会では、意見交換会の会場として、学内学食を利用することで、移動しやすく安価な価格設定としております。多くの方々が意見交換会に参加いただき、有意義な意見交換が進むことを期待しております。特に、今後も学会に参加いただきたい学生が、意見交換会に参加できるよう、指導教員の先生方のご協力をお願い致します。

7. 参加 申込方法

(1) 申込方法

本大会では、大会への事前参加申込み、意見交換会への申込み、研究発表申込み、及びベストプレゼンテーション賞の応募は、学会ホームページの申込フォームで受け付けます。必要事項を記入し、申し込みをして下さい。

- ※ 学会ホームページ <https://www.jswtb.jp/>
- ※ トップページ左下の【年次大会案内】をクリックして、お進み下さい。
- ※ 研究発表のタイトルと講演者（連名含む）は講演要旨集提出時に変更できませんのでご注意ください。

(2) 送金口座

参加費は、下記口座にお振り込み下さい。
なお、複数名分を一括してお振り込みいただく場合は、参加・発表申込の際に通信欄にその旨をご記入下さい。

【振込口座】

銀行名 : ゆうちょ銀行
記 号 : 14040
口座番号 : 50693911
口座名義 : 日本水処理生物学会事務局

※銀行等からのお振込みの際は、
店 名 : 四〇八（ヨンゼロハチ）
店 番 : 408
預金種目 : 普通預金
口座番号 : 5069391

- 1) 振込手数料は、振込者にてご負担下さい。
 - 2) 振り込まれた参加費は、原則としてお返しできませんので、予めご了承下さい。
-

(3) 賛助会員・団体会員の参加資格

- 1) 賛助会員
2名までの大会参加費が無料となります。
- 2) 団体会員
1名まで一般会員扱いとなります。

8. 講演 要旨 原稿

(1) 講演要旨原稿の作成

研究発表やベストプレゼンテーションを申し込まれた方は、本誌掲載の「講演要旨原稿の作成要領」に基づき、原稿の作成をお願い致します。なお、原稿作成用のテンプレートは学会ホームページよりダウンロード可能です。

(2) 講演要旨原稿の提出期限

講演要旨原稿は、令和7年8月28日（木）が締切です。

(3) 講演要旨原稿の送付先

原稿は、参加申込後に送信される受付完了メールにあるリンク先から添付送信して下さい。

※ 原稿は、PDF形式で2MB以下として下さい。

※ リンク先から送信できなかった場合は、下記メールアドレス（大会事務局）宛に添付送付して下さい。

送付先：jswtb.61@gmail.com

件 名：第61回講演要旨原稿の送付

9. 宿泊

宿泊については各自で予約・手続きをお願い致します。

10. 広告・
展示の
募集

講演要旨集（別巻）に掲載する広告の募集を行っております。また、展示ができるスペースをご用意しています。ご希望の方は大会事務局までお問い合わせ下さい。

なお、広告、展示に応募された団体のうち、希望される場合は、大会2日目（11月15日）の昼休みを利用し、会場内にて、企業紹介をする時間を設けます。

日本水処理生物学会・令和7年次総会

委任状

私は、議長を代理人と定め、令和7年11月15日開催の日本水処理生物学会での令和7年次総会における議決権を委任します。

令和7年____月____日

住所：〒

氏名：

講演要旨原稿の作成要領

1. 原稿用紙、印刷方法および提出方法

(1) 原稿枚数は図表を含めて A4 版用紙 1 枚です。作成された原稿は、B5 に縮小した後、印刷されます。

(2) 提出方法

- ① 講演要旨原稿を PDF 形式のファイルで出力して下さい。
- ② PDF 形式のファイルサイズは、2MB 以下となるように調整して下さい。
- ③ 原稿は、参加申込後に送信される受付完了メールにあるリンク先から添付送信して下さい。

※リンク先から送信できなかった場合、大会事務局宛にメールにて添付送付して下さい。

2. 講演要旨原稿の提出期限

令和 7 年 8 月 28 日 (木)

3. 原稿作成方法 (次頁の原稿作成例を参照)

- (1) 原稿は指定範囲内に必ず執筆し、字数は 1 行 42 文字 42 行を目安にして下さい。
- (2) 演題は必ず上端部の指定範囲に記入して下さい。副題がある場合は次行に、演題が長い場合は 2 行で書いて下さい。

演題は研究発表申込みの際に提出したものと同一として下さい。

- (3) 演題から 1 行あけて、氏名と所属を右寄せで書いて下さい。連名の場合には、登壇者の左に○印を付けて下さい。

なお、所属名は、次の例のように略記して下さい。

＜例＞大阪大学大学院工学研究科 → 阪大院・工

発表者名(連名含む)は研究発表申込みの際に提出したものと同一として下さい。

- (4) 氏名から 1 行あけて、本文を書き始めて下さい。
- (5) 図表は鮮明な黒線および黒字から構成されたものとし、細かい字や図は避けて下さい。

講演要旨原稿の作成例

A4 版要旨

[記入例]

30 mm

42 mm

18 mm

24 mm

本文より大きく

1行空ける

1行空ける

○環境 保、清澄 泉(○○大院・工)

登壇者に○印を

1. はじめに

.....

2. 方法

2.1

.....

2.2

.....

3. 結果および考察

.....

.....

.....

.....

.....

図1

表1

.....

.....

参考文献 1)

25 mm

25mm

25mm

実際の原稿に枠線不要

25mm

字数は1行42文字・42行を目安にしてください